



超スーパーウルトラファンタスティックMYOKO



チャレンジフェスティバル

実施期間：令和6年9月22日(日)

目的・趣旨

子供たちの健やかな成長にとって体験の大切さを伝え、地元の企業と連携して自然体験、社会体験、生活体験の機会を提供する機会とする。

事業概要

【参加者数】 128名

- 【実施内容】
- 謎解きチャレンジ…みんなで謎を解いてミッションをクリアしよう！
 - バトルチャレンジ…みんなでサバイバルゲームを楽しもう！
 - DIYチャレンジ…みんなでDIYをやってみよう！
 - ファイヤーチャレンジ…みんなで火起こしをしてサバイバル術を学ぼう！
 - サイエンスチャレンジ…みんなで大科学実験をしよう！

【共催】 妙高青年会議所

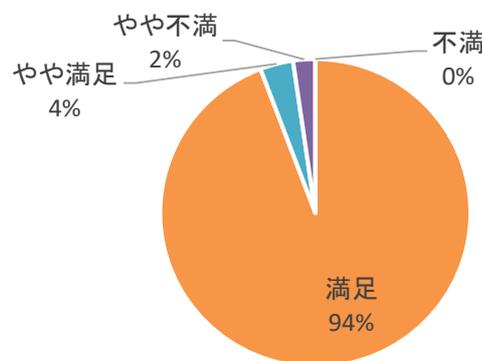
事業のポイント

- 妙高青年会議所と共催して、子供たちに学校や家庭では体験できないような活動を提供することを目的に事業を企画した。
- 企画段階から子供たちに興味を持ってもらえるように、事業全体のストーリー性を大切にした。
- 参加者は下学年と上学年でそれぞれ10人1組のチームに分かれ、5つのブースに挑戦した。どのブースも参加者同士で協力しないとクリアできない内容で、チームワークを育む工夫を行った。

成果

- 参加者の事業全体をとおした満足度は、「満足」が94%と高い結果となった。
- 子どもたちのアンケートを見ると、「新しい友達ができ、よかった。」「どのチャレンジも楽しかった。」という感想が多く、見られた。
- 事業全体のストーリー（宇宙海賊が自然の家に爆弾を設置し、5つのチャレンジをみんなで協力してすべてクリアしなければ爆弾を解除できないという設定）をもたせたことが、子供たちが活動に熱中するよい動機づけとなった。
- 妙高青年会議所と連携することで事業予算を十分に確保することができ、それによって参加費無料で開催することができた。
- 妙高青年会議所の方々と連携することで、互いにそれぞれの思いを共有し、学校や家庭では体験できないようなダイナミックな事業を展開することができた。

参加者満足度



事業の様子



開会式（宇宙海賊登場）



バトルチャレンジ



DIYチャレンジ



ファイヤーチャレンジ



サイエンスチャレンジ

詳しい様子はこちらより

<https://www.instagram.com/mykoshizen/reel/DANu1yXIIbA/>



集合写真

参加者の声

- 新しい友だちがたくさんできた。
- みんなで火を起こすことができ嬉しかった。
- レーザー銃での宇宙海賊とのバトルが楽しかった。またやりたい。
- ベンチを作るときにドライバーが使えるようになった。
- 仲良くする力が成長できた。いろんな人と話せるようになった。

課題

- 今回は9月に実施としたが、他の施設でもイベントが多い時期になってしまったことで参加しづらい状況になっていたことが考えられる。来年度実施する場合は開催時期についてよく検討する必要がある。
- チラシでの広報活動を行ったが、夏休み前に配ったため、募集がなかなか定員に達しなかった。配る時期や広報の仕方を工夫することで、より地元の子供たちが参加できるようにしたい。